



秋の天の川を見よう！  
月のある日はスマホで月撮影も！



# 星空観察会のご案内

本日は国民宿舎小豆島をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当館では、本日午後?時??分から午後?時??分頃まで、本館 3 階屋上において、移動用としては大型の天体望遠鏡を使った星空観察会を開催します。

秋は空が澄み切って、気候も良いことから星空観察に適した季節です。

天頂から南西の空にかけては天の川が神秘的な光芒を見せ、天の川沿いには数々の星雲星団が見られます。

月が出ている夜は月もご覧いただけますが、双眼装置を使って両目で見る月のクレーターや山脈は大迫力で眼前に迫ってきます。上弦の月(半月)から満月の間は、スマホ限定とさせていただきますが、クレーターもはっきり写る写真を撮るサービスも行っていますし、運が良ければ流れ星も見られるかも？大勢の方のご参加をお待ちしております。

## ご覧いただく予定の天体

### 天王星・海王星

土星のシーズンが終わると天王星と海王星が見ごろを迎えます。いずれも肉眼では見えないほど暗く、土星とは比べるべくもありませんが、ともに青緑色に鈍く輝く姿は印象的で、特に海王星は冥王星が準惑星というカテゴリーになったため太陽系最遠の惑星となりますので、この機会にぜひご覧ください。



### 星雲・星団

星雲にはガスが星の光によって照らされている散光星雲、星が爆発した後の姿である惑星状星雲があり、星団にはまばらな星の集まりである散開星団と、数万個以上の星がボール状に集まった球状星団があります。それぞれ大変淡い光であり、光を蓄積した天体写真とは比べるべくもありませんが、数千光年(1光年は約10兆キロ)から遠いものは数千万光年先にある天体を直接肉眼で見ることはまた別の趣があります。

銀河を除く星雲・星団はほとんどが天の川に沿って存在しますが、秋の天の川は天頂近くに見えることから、数多くの星雲・星団が楽しめる季節です。

特にペルセウス座の二重星団やアンドロメダ大銀河、少し遅れて上ってくるプレアデス星団(すばる)などは必見で、それぞれ宇宙の神秘を感じさせてくれます。小豆島の星空をぜひお持ち帰りください。